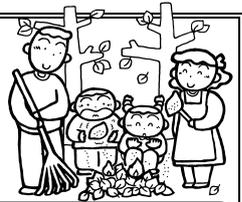


六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校
平成 25 年 12 月 10 日(火)№.13
E-mail isobesho@itoigawa.ne.jp
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



自分の言葉で伝えよう みんな笑顔になろう 元気な体をつくろう

鉄腕アトムの“7つの威力”

校長 高橋雅史

「空を越えて ラララ 星のかなた」私と同世代の皆さんは、歌詞を見なくとも歌える人が多いかもしれません。2番には、「7つの威力だ 鉄腕アトム」というフレーズがあります。

さて、私が子ども時代に胸ときめかせたヒーロー、人間の心をもつロボット鉄腕アトム。下の7つがアトムの威力です。

- 1 善悪を見分け、どんな計算も1秒でできる電子頭脳
- 2 60か国語で会話できる人工声帯
- 3 普通の1000倍も聞こえる耳
- 4 サーチライトの目
- 5 10万馬力の原子力モーター
- 6 足のジェットエンジン
- 7 お尻から撃つマシンガン



放送の開始は、昭和38(1963)年、2003年4月7日がアトムの誕生日とされていきました。アトムがテレビに登場してからちょうど50年が経ち、設定していた誕生日も過ぎました。この間の科学技術の進歩はめざましく、電化製品やコンピュータ、携帯やスマホがなければ社会や生活が成り立たないと思えるまでになりました。

ところで、アトムの7つの威力のうち科学はいくつの威力を実現したのでしょうか。3番～7番までは、既の実現したり、実現に近づいたりしています。

ところが、1と2の威力は、未来永劫にわたっても実現することは不可能だそうです。どんなスーパーコンピュータでも(たとえ計算は1秒に何兆ケタできたとしても)善悪の判断はできません。単語と例文を何十億個記憶させ、聞き取ることができるようにしたとしても、会話は相手を思い、相手の気持ちをくみ取りながらするのです。コンピュータにはできません。そして、何よりもアトムがアトムたる由縁の「人の心」をもつことは、ロボットにもコンピュータにも不可能です。

今、子どもたちのまわりには、コンピュータ・ゲーム・スマホなど、私のような鉄腕アトム世代が夢に見た、科学技術の先端機器があふれています。しかし、その科学技術に憧れたアトム世代の私たちが、歳を経るごとに心に染みる大切なことがあります。それは、コンピュータや科学技術では、人の心を育てたり、善悪を判断したり、人と人とのふれ合いを実現したりすることはできないということです。

鉄腕アトム誕生から50年が経ちました。50年後の今だからこそ、子どもたちをよりよく育むのは、家族、友人、地域の人たち、教師……、決して科学技術の力ではない、私たち人間の力であることに思いを馳せずにはられません。

家庭学習強調週間の取組

11月5日から11月14日までは磯部小学校の家庭学習強調週間でした。下の表は各学年ごとの、それぞれ自分が立てた学習目標時間をどれだけ達成したかをパーセントで表したものです。また、学習の目標時間は、家庭学習強調週間の間、1年生は最低10分以上、6年生は60分以上でどれだけの日学習に取り組めるかをあらかじめ、家の人と相談して決めた時間です。



*例えば、60分を目標時間に設定した場合、旬間中の平均学習時間が60分以上なら達成です。

学年	達成率	自分で立てた目標時間	学年	達成率	自分で立てた目標時間
1年	100%	10～15分	4年	77%	40～70分
2年	90%	20～40分	5年	43%	50～90分
3年	73%	35～60分	6年	25%	60～75分

この表からもわかる通り、学年があがるごとに目標達成率は低くなっていきます。高学年は目標とする学習時間も長くしなければならず、学校の帰りも遅く習いごとをしている場合も多いいため仕方ない面もあるかもしれませんが、中学校への接続という意味からも、もう少し意欲づけるような指導を考えていきたいと思います。

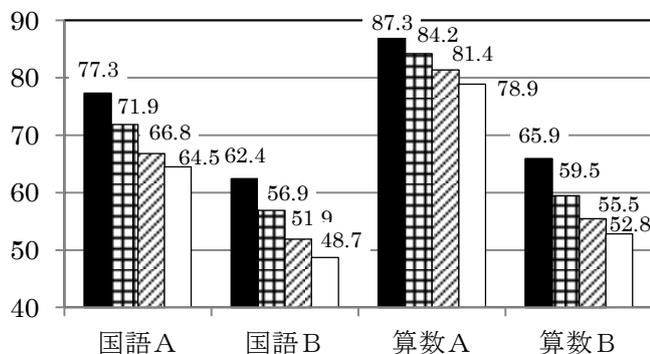
家庭学習は学力の向上につながるとともに、規則正しい生活について自分で考え、自分から実践しようとする自律心を育むためにとても大切で基本的な生活習慣です。

最新の新潟県の資料ではないのですが、とても分かりやすい秋田県の資料がインターネットで公開されていたので参考までにご紹介いたします。

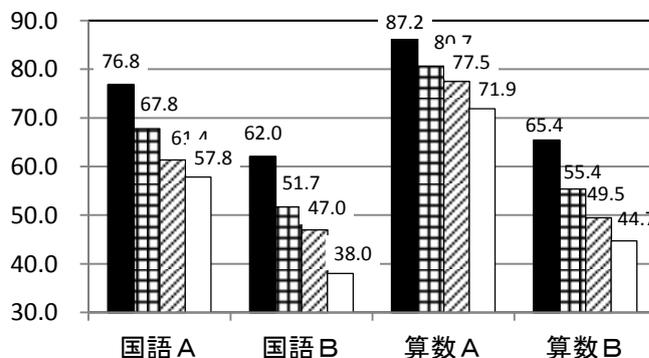
下のグラフは、家庭での学習習慣、生活習慣と学力の関係について、平成21年度に実施された6年生の全国学力学習状況調査の秋田県内の結果を秋田県教育委員会がまとめたものです。数値は各領域の児童の平均正答率、Aは国語・算数の基礎・基本問題を、Bは国語・算数の活用問題を表します。

している
 どちらかといえばしている
 あまりしていない
 まったくしていない

グラフ1；前日のうちに翌日の学校の準備を済ませているか？



グラフ2；家で宿題をしているか？



グラフでわかるように、学習の準備や宿題をきちんとしていることと学力は強い相関性があります。子どもたちの学力の定着は、なんといっても学校での授業が一番ですが、家庭でのきちんとした生活習慣も非常に大切なことがよく分かります。これからもご家庭の理解を得ながら取り組んでいきたいと思っています。

1月の主な行事予定

- 8 (水) 第3学期始業式
- 9 (木) 子ども貯金日, 発育測定
- 10 (金) 校内書初め大会, 委員会活動
- 14 (火) 全校SST
- 15 (水) 音楽朝会
- 22 (水) 発表朝会
- 23 (木) 1日自由参観日
- 24 (金) 委員会活動
- 28 (火) 上越教育事務所学校訪問(5限後放課)
- 29 (水) 能生中学校区入学説明会
- 30 (木) 発表朝会
- 31 (金) 避難訓練(地震・火災想定)



11月の磯部小学校



四・五年生は鮭の受
精体験学習を行いました。
筒石川にもどつてくるといいですね。

二年生は収穫したサ
ツマイモを使い、畑の
先生をお招きしてパ
ティーを開きました。



六年生はジオ学習で
地層やフォッサマグナ
ミュージアムの見学に
出かけました。



説明文を書く

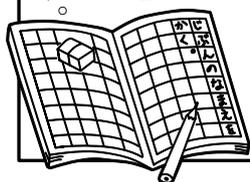


「作文を書く」

というところから、これまでの国語では、出来事や思い出、将来のことについて書くといった内容が中心でした。しかし最近では、「説明文を書く」という内容も重視されるようになってきました。

説明文は、事実を踏まえたり、調べたことを基にしたりしながら、自分の意見が人に伝わりやすいように書かなければなりません。したがって、とても難易度の高い作文です。

学校では、文章構成の仕方を学習したり、カードを工夫したりしながら、説明文の書き方を指導しています。今回は五年生と三年生の作文を紹介します。



「糸魚川市の漁業人口について」

五年 山崎 志桜

先日、新聞で糸魚川市の漁業人口についての記事を読みました。糸魚川市の漁業人口は、将来どうなるのでしょうか。

実は、今高齢化がとても進んでいます。年齢別では、六十五歳以上の人が一番多いことがわかりました。高齢の人が多いということは、これからの高齢化が進んでいくと思います。

しかも、若い人が少ないのです。そして、漁業で働く人がもっと少なくなっていくことも考えられます。さらに、若い人だけでなく、全体の漁業人口も少なくなっているのです。

糸魚川市の漁業人口を増やすために、漁業のすばらしさを伝える活動をもっと増やす必要があると思います。

糸魚川市の漁業人口が増えるように、私はこれから、糸魚川市の魚のおいしさや漁業のすばらしさを、多くの人に伝えていこうと思います。

「すがたをかえる麦」

三年 井田 紬

麦は、いろいろな食品にすがたをかえています。まず、麦ごはんです。米に、おし麦をまぜてたきます。

次に、麦茶です。小さい麦やゴミをとりのぞきまします。そのあと二回に分けて、麦をこがして水分をぬきまします。そして、風をあててひやして麦茶の完成です。

また、小麦にもあります。小麦についている皮をとり、中みをこなにひきます。そして、ふるえば完成です。

さらに、パンです。まず、水・しお・さとう・バター・イースト・たまご・小麦こをまぜます。まとまったら、室おんで三十分はこさせます。そのあとうすくのばして同じ大きさに分け、中みをいれてやりま

す。

それから「ふ」もあります。ます。グルテンという物をうすくぼうにまきつけます。そのあと、ぼうをまわしながらやきます。また、もう一度グルテンをまきつけてやきます。そして、むしてやわらかくしてから、同じはばに切ります。そのあと、かんそうさせてかせいです。

これらのほかに、うどんもあります。まず、こむぎ・しお水を入れてこねます。よくこねると、こしができます。そのあと、めんぼうできじをうすくのばします。あとは、切って、ゆでれば完成です。

このように、麦はいろいろなすがたになって食べられています。

